



URWB 動作モードの設定

- [URWB 動作モードの設定 \(1 ページ\)](#)
- [CLI による判別 \(1 ページ\)](#)
- [リセットボタンの設定 \(2 ページ\)](#)
- [イメージ変換の設定 \(2 ページ\)](#)
- [GUI へのアクセス手順 \(3 ページ\)](#)
- [GUI による URWB Catalyst IW9167E の設定 \(4 ページ\)](#)
- [CLI 設定のコミット \(5 ページ\)](#)
- [CLI による IoT OD のオンラインモードとオフラインモードの設定 \(5 ページ\)](#)
- [CLI によるパスワードの設定 \(初回ログイン後\) \(6 ページ\)](#)
- [GUI による IoT OD IW の設定 \(7 ページ\)](#)

URWB 動作モードの設定

Catalyst 産業用ワイヤレスアクセスポイントは、Catalyst Wi-Fi (AP)、Cisco Ultra-Reliable Wireless Backhaul (URWB)、ワークグループブリッジ (WGB) などの複数のワイヤレステクノロジーをサポートしています。サポートされるモードは、具体的なアクセスポイントによって異なります。

アクセスポイントの OS は、Catalyst Wi-Fi (AP) と Unified Industrial Wireless (UIW) の 2 つの異なるソフトウェアイメージをサポートしています。URWB と WGB は、どちらも UIW ソフトウェアの一部です。アクセスポイントのモードは、アクセスポイントが動作するように設定されているモードに基づいてブート時に決定されます。

CLI による判別

アクセスポイントは、Catalyst Wi-Fi (AP) と Unified Industrial Wireless (UIW) をサポートしている、2 つの異なるソフトウェアイメージのアクセスポイント OS をサポートしています。実行されているソフトウェアを判別するには、次の show コマンドを使用して、指定されたプラットフォームコードを探します。

```
Device# show version
Cisco AP Software, (ap1g6j), C9167, RELEASE SOFTWARE
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2022 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Thu Aug 18 01:01:29 PDT 2022
ROM: Bootstrap program is U-Boot boot loader
BOOTLDR: U-Boot boot loader Version 2022010100
APFC58. 9A16.E464 uptime is 1 days, 3 hours, 58 minutes
Last reload time : Wed Sep 7 11:17:00 UTC 2022
Last reload reason: reload command
```

`show version` で `ap1g6a` または `ap1g6b` と表示された場合は、アクセスポイント OS ソフトウェアが実行されていることを意味します。`show version` で `ap1g6j` または `ap1g6m` と表示された場合は、UIW ソフトウェアが実行されていることを意味します。

次のコマンドを実行して、アクセスポイントが URWB モードで動作しているかどうかを確認します。

```
Device# show iotod-iw status
```

このコマンドが存在する場合、アクセスポイントは URWB モードで動作しています。存在しない場合、アクセスポイントは WGB モードで動作しています。

リセットボタンの設定

URWB モードでは、（ブートローダがリセット信号を受信した後に）LED が赤色の点滅になると、次のリセットアクションが実行されます。デバイスのリセットボタンは、デバイスの電源を入れて動作させた後ではなく、電源を入れる前に押す必要があります。

- リセットボタンを 20 秒より短く押すと、既存の設定がクリアされます。
- リセットボタンを 20 秒より長く 60 秒より短く押すと、工場出荷時設定へのリセットがトリガーされます。
- リセットボタンを 60 秒より長く押しても、設定はクリアされません。

イメージ変換の設定

Catalyst IW9167E アクセスポイントを Wi-Fi モード（CAPWAP AP）から URWB モードに、またはその逆に変換するには、次の手順に従います。

1. CAPWAP から URWB モードに、または WGB/uWGB から URWB モードに変換するには、次の CLI コマンドを入力します。アクセスポイントがリブートし、URWB モードでブートします。

```
configure boot mode urwb
```

2. URWB から CAPWAP モードに、または WGB/uWGB から CAPWAP モードに変換するには、次の CLI コマンドを入力します。アクセスポイントがリブートし、Cisco CAPWAP アクセスポイントモードでブートします。

```
configure boot mode capwap
```

3. CAPWAP から WGB/uWGB モードに、または URWB から WGB/uWGB モードに変換するには、次の CLI コマンドを入力します。

```
configure boot mode wgb
```



- (注) イメージを変換すると、完全な初期設定へのリセットが実行されます（すべての設定とデータが完全に削除されます）。

GUI へのアクセス手順

Web UI（Web ユーザーインターフェイス）にアクセスするには、次の手順を使用します。

1. Web UI にアクセスするには、Web ブラウザを開き、次の URL を入力します：<https://<IP address of unit>>
2. ログインページが正常に開くと、以下のように Catalyst IW9167E または IW9165 コンフィギュレータが表示されます。

Cisco URWB IW9167EH Configurator
5.21.201.112 - MESH END MODE

Login

Username:

Enable Password:

Show password:

Login

© 2022 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

3. 設定ページにアクセスするには、[Username] と [Enable password] のログイン情報を使用します。
4. Web UI に正常にログインすると、次のような URWB コンフィギュレータが表示されます。

The screenshot shows the Cisco URWB IW9167EH Configurator interface. The title is "Cisco URWB IW9167EH Configurator 5.21.201.72 - MESH END MODE". The left sidebar contains a navigation menu with categories: IOTOD IW (Offline), FM-QUADRO, GENERAL SETTINGS (general mode, wireless radio, antenna alignment and stats), NETWORK CONTROL (advanced tools), ADVANCED SETTINGS (advanced radio settings, static routes, allowlist / blocklist, multicast, snmp, radius, ntp, l2tp configuration, vlan settings, Fluidity, misc settings, smart license), and MANAGEMENT SETTINGS (remote access, firmware upgrade, status, configuration settings, reset factory default, reboot, logout). The main content area is titled "GENERAL MODE" and "General Mode". It includes a note: "Select MESH POINT mode if you are attaching an IP edge device (i.e. network camera, encoder, etc.) to this Cisco Catalyst IW9167E Heavy Duty Access Point or if you are using this unit as a relay point in the mesh network." The "Mode" section has radio buttons for "mesh point" (selected), "mesh end", and "gateway". There is a "Radio-off" checkbox. Below is the "LAN Parameters" section with input fields for: Local IP (10.115.11.117), Local Netmask (255.255.255.0), Default Gateway (10.115.11.1), Local Dns 1 (8.8.8.8), and Local Dns 2. At the bottom are "Reset" and "Save" buttons. A copyright notice "© 2022 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved." is at the very bottom.

GUI による URWB Catalyst IW9167E の設定

次の図は、URWB Catalyst IW9167E レイアウトの GUI 設定を示しています。

This screenshot is identical to the one above, showing the Cisco URWB IW9167EH Configurator interface. The title is "Cisco URWB IW9167EH Configurator 5.21.201.72 - MESH END MODE". The left sidebar contains a navigation menu with categories: IOTOD IW (Offline), FM-QUADRO, GENERAL SETTINGS (general mode, wireless radio, antenna alignment and stats), NETWORK CONTROL (advanced tools), ADVANCED SETTINGS (advanced radio settings, static routes, allowlist / blocklist, multicast, snmp, radius, ntp, l2tp configuration, vlan settings, Fluidity, misc settings, smart license), and MANAGEMENT SETTINGS (remote access, firmware upgrade, status, configuration settings, reset factory default, reboot, logout). The main content area is titled "GENERAL MODE" and "General Mode". It includes a note: "Select MESH POINT mode if you are attaching an IP edge device (i.e. network camera, encoder, etc.) to this Cisco Catalyst IW9167E Heavy Duty Access Point or if you are using this unit as a relay point in the mesh network." The "Mode" section has radio buttons for "mesh point" (selected), "mesh end", and "gateway". There is a "Radio-off" checkbox. Below is the "LAN Parameters" section with input fields for: Local IP (10.115.11.117), Local Netmask (255.255.255.0), Default Gateway (10.115.11.1), Local Dns 1 (8.8.8.8), and Local Dns 2. At the bottom are "Reset" and "Save" buttons. A copyright notice "© 2022 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved." is at the very bottom.

CLI 設定のコミット

現在の設定または実行中の設定をローカルストレージまたはメモリに保存するには、`write` CLI コマンドを入力します。変更された値はキャッシュ構成ファイルにあるため、`write` コマンドを入力した後に、現在の設定を有効にするためにデバイスをリブートします。設定を有効にするには、次の CLI コメントを使用して設定を書き込み、デバイスをリロードします。

```
Device# write
```

または

```
Device# wr
```

`write` または `wr` : 現在の設定をメモリにコミットします。

```
Device# reload
```

`reload` : デバイスをリロードします。

例 :

```
Device# write
```

```
!!! Please reboot to take effect
```

```
Device# reload
```

```
Proceed with reload? [confirm]
```

(確認のために入力します)

CLI による IoT OD のオンラインモードとオフラインモードの設定

IoT OD (IoT Operations Dashboard) はクラウド管理ポータルであり、デバイスはネットワークを介してオンラインクラウドに接続されます。オフラインモードでは、デバイスは CLI と Web UI によってローカルモードで設定され、クラウドには接続されません。

デバイスがオフラインモードで設定されている場合は、次のオプションを選択します。

- CLI と Web UI を使用して、デバイスを手動で設定します。
- IoT OD クラウドサービスでデバイスを設定して、IoT OD IW からエクスポートされた構成ファイルを選択し、IoT OD IW 管理ページの最後にある設定のアップロードボタンを使用して構成ファイルをアップロードします。

IoT OD IW (IoT 産業用ワイヤレス) 設定機能をアクティブまたは非アクティブにするには、次の CLI コマンドを使用します。

```
Device# configure iotod-iw {offline | online}
```

`online` : IoT OD IW モードをオンラインに設定します。IoT OD IW クラウドサーバーからデバイスを管理できます (ネットワークに接続されている場合)。

offline : IoT OD IW モードをオフラインに設定します。デバイスは IoT OD IW から切断され、CLI またはオフライン コンフィギュレータ インターフェイスを使用して手動で設定する必要があります。

CLIによるパスワードの設定（初回ログイン後）

デバイスをオフラインモードにすると、初回ログイン後にデバイスに強力なパスワードを設定する必要があります。CLIを使って強力なパスワードを設定するには、次の方法に従ってユーザー名とパスワードを設定する必要があります。

- ユーザー名の長さは 1 ～ 32 文字です。
- パスワードの長さは 8 ～ 120 文字にする必要があります。
- パスワードには、少なくとも 1 つの大文字、1 つの小文字、1 つの数字、および 1 つの句読点を含める必要があります。
- パスワードには英数字と特殊文字（33 ～ 126 の ASCII 10 進コード）を含めることができますが、次の特殊文字は使用できません。

" [二重引用符]

' [一重引用符]

? [疑問符]

- パスワードには、3 つの連続した順番の文字を含めることはできません。
- パスワードには、同じ文字を 3 回連続して含めることはできません。
- ユーザー名と同じ文字列や、ユーザー名を逆にした文字列はパスワードに使用できません。
- 新しいパスワードを現在のパスワードまたは既存のパスワードと同じにすることはできません。

例 :

デフォルトのログイン情報は次のとおりです。

```
username: Cisco
password: Cisco
enable password: Cisco
```

強力なパスワードを使用してログイン情報を再設定するために、次のサンプルログイン情報を使用します。

```
username: demouser
password: DemoP@ssw0rd
enable password: DemoE^aP@ssw0rd
```

CLIを使って強力なパスワードを設定する例。

```
Device# configure iotod-iw {offline}
Switching to IOTOD IW Offline mode...
Will switch from Provisioning Mode to IOTOD IW offline Mode, device need to reboot:Y/N?
Y
User access verification.
[Device rebooting...]
```

```
User Access Verification:
Username: Cisco
Password: Cisco
```

初回ログイン後に、ログイン情報を再設定してください

```
Current Password:Cisco
Current Enable Password:Cisco
New User Name:demouser
New Password:DemoP@ssw0rd
Confirm New Password:DemoP@ssw0rd
New Enable Password:DemoE^aP@ssw0rd
Confirm New Enable Password:DemoE^aP@ssw0rd
```

ログイン情報が変更された後に、再度ログインしてください

```
User access verification
Username: demouser
Password: DemoP@ssw0rd
Device> enable
Password:DemoE^aP@ssw0rd
Device#
```



(注) 上記の例では、すべてのパスワードがプレーンテキストです。これはデモ用（サンプルログイン情報）です。実際のケースまたは設定では、アスタリスク（*）で隠されています。

GUIによるIoT OD IW の設定

次の図は、IoT OD IW 管理の GUI ページを示しています。

IOTOD IW Management

IOTOD IW Configuration Mode

Provisioning: initial radio configuration phase. The radio MUST be configured using the Centralized Web Interface ([IOTOD Industrial Wireless US](#), [IOTOD Industrial Wireless EU](#)) if connection is successful or manually if *Offline* configuration is selected.

Offline Configuration: it supports local parameter changes through the radio Web UI / CLI or upload of a single file downloaded from IOTOD IW section in IOTOD Industrial Wireless ([IOTOD Industrial Wireless US](#), [IOTOD Industrial Wireless EU](#)).

Online Cloud-Managed Configuration: the radio can be configured from the Centralized Web Interface (IOTOD IW section in [IOTOD Industrial Wireless US](#) or [IOTOD Industrial Wireless EU](#)) if it is connected to the Internet and can access IOTOD IW Cloud Server. Radio Web UI and CLI are read-only.

Online Cloud-Managed Offline

UPLOAD IOTOD IW CONFIGURATION FILE

Upload Configuration File

Select configuration file exported from IOTOD Industrial Wireless: No file selected

Last configuration ID 34

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。